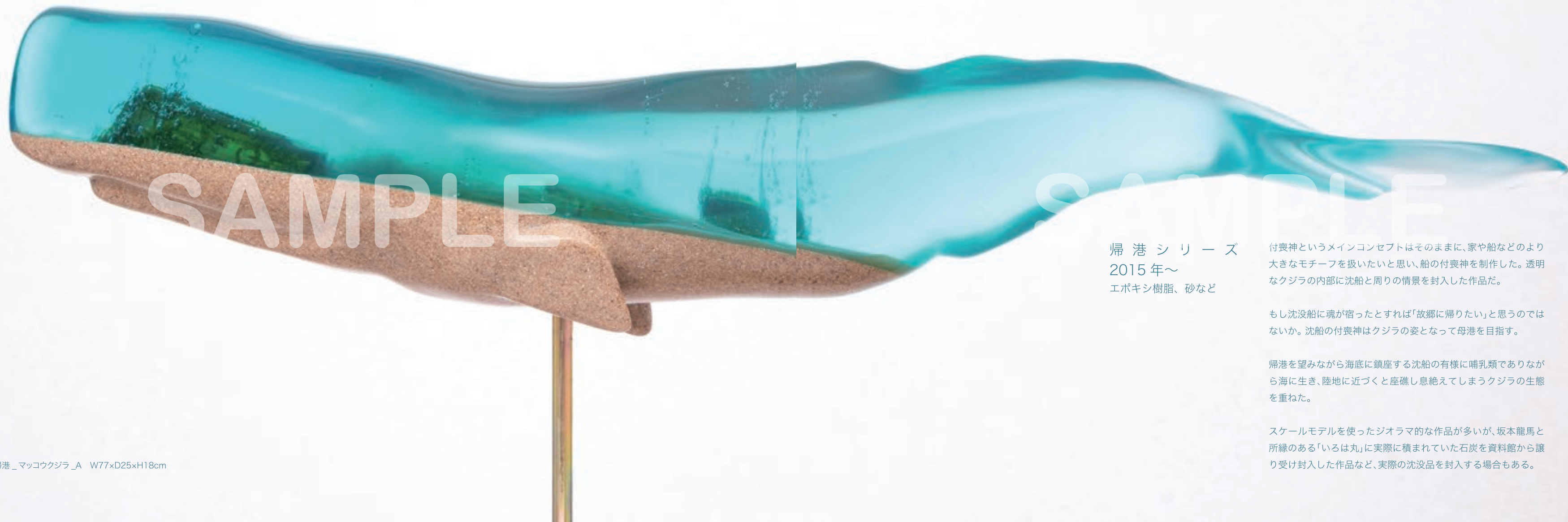


山田勇魚 作品集
Isana Yamada Art Works

山田勇魚 作品集
Isana Yamada Art Works



帰 港 シ リ ー ズ
2015 年～
エポキシ樹脂、砂など

付喪神というメインコンセプトはそのままに、家や船などのより大きなモチーフを扱いたいと思い、船の付喪神を制作した。透明なクジラの内部に沈船と周りの情景を封入した作品だ。

もし沈没船に魂が宿ったとすれば「故郷に帰りたい」と思うのではないか。沈船の付喪神はクジラの姿となって母港を目指す。

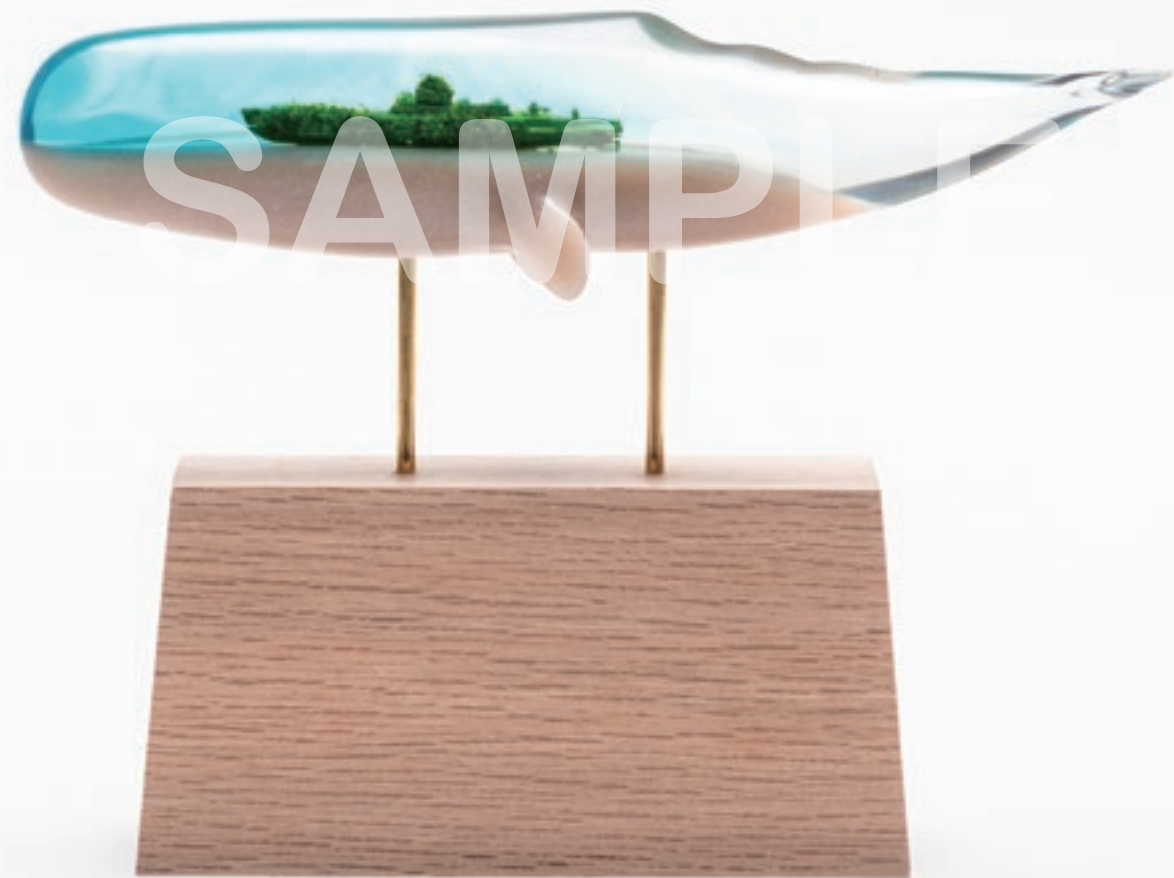
帰港を望みながら海底に鎮座する沈船の有様に哺乳類でありながら海に生き、陸地に近づく座礁し息絶えてしまうクジラの生態を重ねた。

スケールモデルを使ったジオラマ的な作品が多いが、坂本龍馬と所縁のある「いろは丸」に実際に積まれていた石炭を資料館から譲り受け封入した作品など、実際の沈没品を封入する場合もある。



帰港_マッコウクジラ_B_1 W32.5×D5×H6cm





帰港_マッコウクジラ_C_2 W18.5×D3×H4.5cm





帰港_シヤチ_2 W50xD26xH16cm



漂 流 シ リ ー ズ 2019 年～

ビーチコーミングで取得した漂着物と砂を封入した付喪神作品。

本来自ら動く事のない人工物だが、海流に乗れば何千キロもの旅をすることだってある。

海洋ゴミの問題は深刻だが、彼ら自身は自由な漂流を楽しんでいるのかも知れない。

カモメになった漂着物は暫し休んだ後に再び何処かへと飛び去って行く。



漂流_1 W4×D9×H8cm





漂流_5 W4×D9×H8cm





望郷_1 W5.5×D5×H11cm



望郷_2 W5.5×D5×H11cm



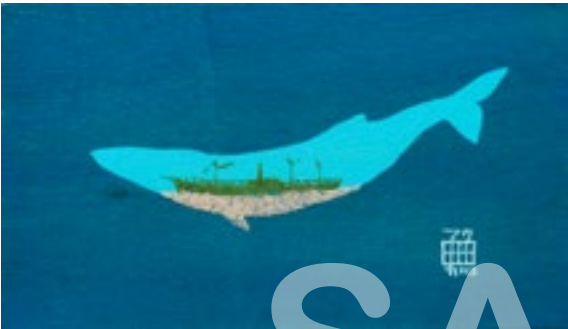
望郷_3 W5.5×D5×H11cm



帰港_マッコウクジラ M10号



帰港_コククジラ M4号



帰港_イワシクジラ M4号



帰港_セミクジラ M10号



帰港_セミクジラ M4号



帰港_マッコウクジラ M4号



帰港_シロナガスクジラ M4号



帰港_ザトウクジラ M4号